

日本工学院八王子専門学校		開講年度		2019年度（平成31年度）		科目名		卒業発表	
科目基礎情報									
開設学科	こども学科			コース名				開設期	後期
対象年次	2年次			科目区分	必修			時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	演習				
教科書/教材									
担当教員情報									
担当教員	井上 厚				実務経験の有無・職種		無し		
学習目的									
2年間の集大成としてこれまで学んできた実習の授業とは違う以下の4つの中から学生各自が得意とするもの、または興味が持てるものを選択して、制作を行い、作品を発表する。具体的には「乳幼児が遊べるおもちゃ」「造形遊びの技法を用いた制作」「手づくりの織機でつくるタペストリー」「牛乳パックでつくるランタン」である。将来保育者として作品展などで、造形的な制作の発表などをする際に必要なスキルの習得をこの学習の第一の目標とする。									
到達目標									
それぞれの制作のアイデアをまず複数考え、それをやがて一つに絞り込み、構想を練る。その構想がまとまった段階で技法を取捨選択し、全体像を作り上げていく。実際の制作に入ると、途中で様々な困難に出会うことが予想される。その困難を知恵と工夫で乗り越えて制作を続け、途中で投げ出すことなく、最後まで手を抜かずに作品を仕上げることに到達すべき目標である。									
教育方法等									
授業概要	まず次の4つの中から「乳幼児が遊べるおもちゃ」「造形遊びの技法を用いた制作」「手づくりの織機でつくるタペストリー」「牛乳パックでつくるランタン」1つ選択する。次に制作のアイデアを複数考え、構想を練る。その構想がまとまった段階で技法や、素材を取捨選択し、完成予想図をつくる。それをもとに制作していくが、途中で決してあきらめることなく必ず作品を完成させる。								
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは作品を提出することが出来ない。授業中に配布された印刷物は、絶対に紛失しないように保管しておく習慣を付けておくこと。								
評価方法	種別	割合	備 考						
	技術	60%	授業内で制作した作品の技術的な部分、手際を総合的に評価する						
	アイデア	20%	授業内容で制作した作品のアイデアを評価する						
	完成度	10%	授業内容で制作した作品の完成度を評価する						
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する						
授業計画（1回～15回）									
回	授業内容				各回の到達目標				
1回	構想を練り完成予想図の作成				技法を決定する。技法を理解し、制作を進める。				
2回	制作 1				技法を理解し、制作を進める。				
3回	制作 2				技法を理解し、制作を進める。				
4回	制作 3				技法を理解し、制作を進める。				
5回	制作 4				技法を理解し、制作を進める。				
6回	制作 5				技法を理解し、制作を進める。				
7回	制作 6				技法を理解し、制作を進める。				
8回	制作 7（中間発表を行う）				中間発表をする。展示方法を検討する。				
9回	制作 8				技法を理解し、制作を進める。				
10回	制作 9				技法を理解し、制作を進める。				
11回	制作 10				技法を理解し、制作を進める。				
12回	制作 11				技法を理解し、制作を進める。				
13回	作品の仕上げをして完成させる。				作品を完成させる。				
14回	展示方法の構想に従い、展示の準備をする				展示のための準備をする。				
15回	展示方法の構想に従い、展示の準備をする				展示のための準備をする。				